

情報エクスプレス

I LOVE

始良ぶ農業

第46号

R4年6月発行

編集・発行 / 始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課 [始良市加治木町諏訪町12 ☎0995-63-8215]

農業改良普及事業につきましては、かねてから、農業者の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆様の多大な御支援・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨今の農業を取り巻く環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、我が国の農畜産物の需給や消費の動向にも影響が見られてきたところです。

さらに、ここに来て、世界的な穀物の高騰をはじめ、原油価格・物価高騰など、農業を取り巻く環境も変化してきており、食料を安定的に供給するための農業の役割はより重要になってきています。

そのような中、県においては、本県農業の「稼ぐ力」を引き出すため、地域を支える多様な担い手の確保・育成や農村の活性化などの「人づくり・地域づくりの強化」、生産体制づくり、スマート農業・6次化の推進などの「生産・加工体制の強化、付加価値の向上」、かごしまブランドのPRなどの「販路拡大・輸出拡大」等の施策を展開しています。

普及事業についても、これら施策と連携しながら、地域における課題の解決や成果の波及に取り組んでいるところです。

「情報エクスプレス 始良ぶ農業」では、普及活動の紹介や農業技術、農政情報等を整理し、年に3回、関係者の皆様にお届けしています。限られた紙面ではございますが、この情報が皆様の活動の参考になるよう、できるだけわかりやすく情報をお伝えできればと考えています。

農政普及課では、今年度も、関係者の皆様と連携を図りながら、職員一丸となって、始良地域の農業・農村の振興に努めてまいりますので、引き続き、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

始良・伊佐地域振興局 農政普及課長 内村 幸二郎

令和4年度 農政普及課 職員紹介

	課長 内村 幸二郎	技術補佐 有馬 武統	技術補佐(普及担当)兼畜産普及係長 寺脇 志朗	(FAX 63-8216) 電話番号		
農業振興係	農業振興係長 美座 芳江	専門員 榎 小百合	技術主査 西郷 哲美	農業技師 福留 みずほ	主事 寺地 正徳	63-8214
畜産振興係	技術主幹兼畜産振興係長 内村 正幸	技術主査 後藤 由香里	技術主査 柴田 幸児	技術主査 川瀬 弘毅		63-8157
経営普及係	技術主幹兼経営普及係長 新村 嘉章	技術専門員 藤田 英介	技術専門員 渡辺 葉子	農業技師 長山 佳樹		63-8215
園芸普及係	技術主幹兼園芸普及係長 市成 広之	技術専門員 満吉 俊也	技術専門員 石原 美紀	技術主査 上坊 義文	農業技師 松比良 駿	63-8237
茶普及係	茶普及係長 遠矢 聡志	技術専門員 中村 憲知	農業技師 瀬戸口 一真			63-8223
畜産普及係	(兼務)	技術主査 野元 浩和	農業技師 江崎 太樹			63-8223

水稻の新技术について～省力化になる新しい除草剤～

水稻に使用される除草剤と言えば、ジャンボ剤、フロアブル、粒剤（3キロ）、1キロ粒剤などの種類があります。

これらを散布する際は、動力散布機などの機械を用いて、水田の周辺を歩いて散布するため、時間や労力がかかりました。

今回ご紹介するのは、省力化となる新しい除草剤です。

これらの除草剤は、水田の一边から散布するだけで、拡散性が優れており（長辺150mまで届く）、水田全体に効果が広がるため、機械等を使用せずに、10a当たりにかかる散布時間が短くなります。

1. 豆つぶ剤

10a当たり250gで効果のある除草剤です。写真1のとおり、粒が1キロ粒剤に比べて大きく、写真2のように袋から直接散布することができます。また従来通り動力散布機や無人ヘリ、ドローンでも散布できます。水稻栽培こよみには、エンペラー豆つぶが記載されています。散布する注意点として、**水田の水深が5センチ程度必要**です。水があることで、除草剤が全体に拡散していきますので、**3日程度は湛水が維持できることが必要**です。



写真1 豆つぶ剤と粒剤



写真2 直接散布時の様子

2. FG剤

10a当たり400gで効果のある除草剤です。写真3のとおり、粒の大きさは、1キロ粒剤とほぼ同じです。

散布方法や注意点は豆つぶ剤と同じで、拡散性に優れた除草剤です。



写真3 FG剤の粒の大きさ

第60回全国青年農業者会議にて農林水産省経営局長賞受賞

3/2にオンライン開催された全国青年農業者会議において、農業青年クラブ「飛翔クラブ」の増田泰博さんが九州代表としてプロジェクトの部で発表しました。

発表内容が評価され、増田さんは土地利用型部門において、2席にあたる「農林水産省経営局長賞」を受賞しました。



写真1 増田 泰博氏

製粉に関わる経費の試算 (R2稼働時)

表. 1kgあたりの製粉費用

年度	麦類生産面積 (a)	原料収量 (kg)	原料1kg当たりの製粉費(円)	
			自家製粉	委託の場合
H30	180	3,600	254	+105円 149
R2	360	4,000	229	+56円 173
R4 (目標)	550	10,000	91	-124円 215

自家製粉の製粉費: (固定費+流動費)/原料収量 で計算

R2 製粉費: 229円/kg

写真2 オンライン発表時の様子



写真3 オンライン発表時の様子

クラウドファンディングを活用した製粉施設導入等の取組を発表しました。

発表の様子はYoutubeでも公開されており、右のQRコードからもアクセスできます。ぜひご覧ください。



写真4 増田さんと息子の麦(ばく)くん



写真5 直売所も営業しています!

R3年度には自宅に直売所も開設し、自家製の有機小麦や有機大豆を使った加工品等を販売中です。増田さんは地域のリーダーとして、今後の活躍がますます期待されています。

経営状況を正確に把握するためのパソコン簿記研修について

確定申告の時期が終わりました。皆様は簿記記帳を何のためにされるでしょうか？

1つには確定申告があると思いますが、もう1つの大切な目的として、**自らの農業経営の状況を正確に把握し、大切な農業経営の判断に生かす**という意味があります。

簿記記帳には、簡易簿記と複式簿記があります。簡易簿記では経営管理に必要な財務内容を的確に把握できないため、複式簿記記帳が最善と言えます。

損益計算書・・・その年の農業経営の経営成績を表します。

貸借対照表・・・農業経営の現在の財政状況がわかります。

農政普及課では、新たに複式簿記に取り組む方等を対象に複式簿記及びパソコン簿記研修を開催します。興味のある方は農政普及課（63-8215）までお問い合わせください。

（複式簿記入門研修）

開催日時 8月24(水)～25日(木)

- ・複式簿記と仕訳の講義
- ・複式簿記から決算までの演習

※2日間午後半日を予定

（パソコン簿記入門研修）

開催日時 9月1(木)～2日(金)

- ・パソコン簿記の入力手順
- ・初期設定から決算までのパソコン簿記入力体験

※2日間午後半日を予定、ノートパソコンが必要です。

（パソコン簿記実践研修）

本格的にパソコン簿記に取り組む方を対象に、11月から月1～2回集団指導を行います。



写真1 パソコン簿記実践研修の様子

※簿記研修日程は変更になることがあります。参加される場合、必ず事前にご連絡ください。こちらから開催文書をお送りし、申し込みをした上での参加になります。